

連結中期経営計画とCSRの推進

WEBはこちら <http://www.cosmo-oil.co.jp/sustainable/06/gov/csr.html>

安定した収益基盤の確立と社会的責任の推進に向けて、「新・連結中期経営計画」に取り組んでいます。

「新・連結中期経営計画」

石油をめぐる社会の状況が大きく変化しています。国内では、石油需要そのものが減少し、重油などの黒油からガソリンなどの白油へ移行するなど需要構造に変化が見られます。また、京都議定書発効を受けて環境対策の重要性がますます高まっています。さらに、海外ではエネルギー市場の拡大、石油需給バランスのタイト化といった大きな構造転換期を迎えました。このような状況を背景に、コスモ石油グループでは、2005年度から新しい中期経営計画をスタートさせました。

基本方針

計画は、“安定した経営基盤の確立”と“成長戦略への転換”の二本柱をその基本方針としています。“安定した経営基盤の確立”とは、これまでの合理化から軸足を移し、安定的な事業基盤を確立するとともに、事業環境変化リスクに耐える企業体質への転換を図っていくことです。『CSR（社会的責任）推進の強化』は、そのなかでも中心的なテーマであり、別途「連結中期CSR計画」を策定しています。“成長戦略への転換”とは、需要構造変化に対応するために、戦略的な設備投資による製油所の高度化により競争力を強化するほか、石油開発や石油化学事業、輸出の規模拡充による事業領域の拡大を図っていくことです。計画の最大の特徴は、戦略的投資と財務体質の改善の両立を可能にした点にあり、計画の着実な実施により持続的な成長をめざしています。計画初年度となる2005年度には、経常利益では持分法による投資利益、為替差益、受取配当金の増加などにより、目標を達成しました。

「連結中期CSR計画」

コスモ石油グループが企業体として経済的利益を得て、かつ社会に対する務めをしっかりと果たし社会に貢献する。この2つをバランスよく追求することにより、私たちの経営理念である『調和と共生』と『未来価値の創造』を通じた『持続的発展』が具現化されていくと考えています。この考え方をグループ全体で共有し、着実に実践していくため、2005年度にスタートした連結中期経営計画に『CSR推進の強化』を掲げ、具体的な計画として同年、同じく3カ年の連結中期CSR計画をスタートさせました。

基本方針

社会とのかかわり方は、グループを構成する各会社、各部門によりさまざまです。よって、連結中期CSR計画では、各事業単位での取り組みを基本としながら、グループ共通の5つの重点項目（①CSR意識の浸透、②リスクマネジメントと内部監査機能の強化、③安全管理の徹底、④環境取り組みの高度化、⑤人権・人事施策の充実）を設定しています。2005年度からこのようにCSR経営強化の方針を打ち出し、取り組みを強化してきましたが、このたびの事故・不祥事が発生してしまいました。この事実を重大に受け止め、現在、問題点の洗い出しを行い、安全管理・コンプライアンス体制、および企業文化としてCSR意識が根付くための取り組みを中心に、抜本的見直しを進めています。その結果は、次回の報告書にてご報告させていただきます。



関連情報

● 連結収益目標・指標

● 連結中期CSR計画

<http://www.cosmo-oil.co.jp/sustainable/06/gov/csr.html>